

第5回島田市の花・木・鳥制定委員会 要約会議録

- 1 開催日時 平成26年8月29日(金) 午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 島田市役所 第3委員会室北
- 3 出席者
委 員 鈴木善彦委員長、菅功副委員長、天野成子委員、伊藤健太郎委員
大石進哉委員、鈴木安夫委員、鈴木りゑ委員、杉村敏雄委員
藪崎公士委員、横山富枝委員
島田市 佐藤秘書課長、松田係長
- 4 内 容 第5回 島田市の花・木・鳥制定委員会
 - (1) 開会
 - (2) 議事
島田市の花・木・鳥候補案のまとめについて
制定における周知方法の提言について
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 会議の経過の概要
 - (1) 議事
島田市の花・木・鳥の候補案のまとめについて
絞込みの共通理解について、委員長提案資料のもと委員全員の確認
を行い、取りまとめを行った。各委員から自分の意見を述べてもらい、
候補案の票数を数え、最有力候補を、まとめることとした。
(※一人で複数の候補を選ぶことも可とした。)

花の候補について
＜バラの意見＞
(委 員)

 - 来年5月、全国ばらサミットが当市での開催が決定しており、全国から22市町が島田市へ来ると聞いている。また、市歌の歌詞の中にも「ばら香る」とあることからバラを選定していきたい。
 - 島田市のシンボリックな場所であるばらの丘公園もあり、毎年春秋のフェスティバルでは、週末に3,000人くらいの多くの人を訪れ、産業として成り立っている。

る。市内にはバラ農家もあり、これだけ注目されているが、生産が下降気味なのは残念。もっとアピールして島田市の一大産業として伸ばしていくためにもバラを推していきたい。

- 古くから制定した歴史もあり、バラは島田の産業にも貢献したという意味も込めて推していきたい。
- 静岡新聞のコラムでも掲載し、アピールしたバラが良いと思う。
- ばらの丘公園に家族連れで行って種類もこんなにあるのかとびっくりした。孫が生まれたが、島田市ではバラの苗木をプレゼントしてくれた。是非、この事業も継続してもらいたいこともあり、バラを推薦したい。
- 他の花に比べ市場の需要もあり、はやり廃りが無い。そうした点でバラがいい。
- バラは結婚式で使われる。結婚式も少なくなっている現状であるが、市の花としてアピールし、需要を増やしていきたい。

<次点の候補サクラの意見>

(委員)

- 市民会館脇には帯桜もあり、川根にも桜トンネル、家山川沿い等にもあることから推薦したい。
- 合併の意味を踏まえて、地域性を考慮したい。サクラはどこにでもあり、綺麗であるので、推薦したい。
- サクラはどこに行ってもある。「日本の花」として捉えたらいかがか。

<その他の候補の意見>

(委員)

- お茶の白い花も捨てがたい。木でなくて花としてお茶の花を推薦したい。

<花の候補のまとめ>

花の候補として10票を集めた「バラ」を最有力候補とする。

次点として2票の「サクラ」を挙げることにする。

木の候補について

<お茶の意見>

(委員)

- 花も美しいが、木でお茶を推したい。牧之原大茶園もあり、地域としてお茶は、基幹産業である。
- 川根茶、金谷茶、島田茶とそれぞれあり、島田市の特産品である。
- お茶は、産業のシンボルであり、合併したどの地域においても馴染みがある。また、市には、お茶の郷も立地している。
- 茶産業が低迷している昨今、市の木としてお茶を選定することで、盛り返しを図る契機となることも期待できる。

<ドウダンツツジの意見>

(委員)

- ドウダン原のところに自生しており、新緑、紅葉の時期も綺麗である。
- 自然の群生は珍しい。採取していても土壌が違うからなかなか育たない。
- 洋風の家、和風の家でも合う。これからの子どもたちにも、身近に触れてもらい、楽しめるという意味も込めてドウダンツツジを推したい。

<サクラの意見>

(委員)

- 地域性を考慮し、木としてのサクラを推薦したい。歴史のある木も存在し、綺麗であることから、推薦したい。
- 島田市全域にあるということで、大人も子どもも理解できることから、サクラの木を推したい。
- サクラはどこに行ってもあるし、木よりもむしろ花ではないか。

<その他の候補の意見>

- 木都「島田」の産業振興の意味からもスギも再興したい。

<木の候補のまとめ>

木の候補として6票を集めた「お茶」を最有力候補とする。

次点候補として3票の「ドウダンツツジ」を記載することとする。

さらに次点候補として2票の「サクラ」も記載することとする。

鳥の候補について

<オオルリの意見>

(委員)

- 知名度も高く、市の文化施設の名称にもなっており、以前から市民に名前は親しまれている。
- オオルリへの愛着と、自然環境を大事にする願いを込めて再度、制定し、知名度を高めたい。
- 最初は建物の名前だと思っていた。今の子どもは鳥の名前、姿は知らないので、鳥の名前として周知を図っていただきたい。
- 昭和の時代から島田の鳥は「オオルリ」として浸透してきて、野鳥観察でも「市の鳥」と紹介してきた。
- 鳴き声も綺麗であり、全国的にも市の鳥でオオルリを制定しているところは他にもう1市しかない。
- オオルリは旧島田地域だけでなく金谷の大代の童子沢などにも生息しており、環境のいいところに居ることを誇りとし、アピールしても良いのではないか。

<鳥の候補のまとめ>

鳥の候補として今回、オオルリを制定委員の総意（10票）で選定した。

<花・木・鳥の候補のまとめ>

委員会の意見として今回まとめた、「バラ」「お茶」「オオルリ」を最有力案としてパブリックコメントにかけていくことを確認した。次点候補もこういう意見があったことを表記していくものとし、パブリックコメントにかけていくものとする。

・制定における周知方法の提言について

（委員からの提言）

- ばらサミットもあることだし、市庁舎などの公共施設や駅前の通りもバラであふれ、誇らしくなるように植栽したい。
- バラに決定したならば、バラが植えられていない学校には是非、苗木を配布し、育ててもらえるよう、きめ細かくやってみてはどうだろうか。
- 鳥など、実物そっくりな現寸大のバードカービングなどを作製してもらったらどうだろうか。
- 信号機の音は難しいかもしれないが、夕方5時の時などに、鳥の鳴き声を流すことも面白いかもしれない。
- まず、市民に知らせるために、独立した広報を作成できないだろうか。特別号を企画してもらいたい。
- 平和都市宣言ほどではないにしても、制定宣言のような重みもほしい。特集を掲載するにあたり、選定の際に出たこうした思いも載せていただきたい。
- 市内の小学校、中学校、高校の児童、生徒が出入りするところに、制定された3つをパネルにし、掲示するのも良い。
- 駅などにはパネルや像などを設置し、後ろからバックライトで照らすなど工夫してみて、アピールしても良いのではないか。
- オオルリの声聞いてみて、子供たちにもCDなどでもいいので聞かせる方法を各学校のやり方ですすめてほしい。例えば学校の蛇口からお茶が出るようなインパクトが大事であると思う。
- 教育委員会と連携し、オオルリの声もお昼の給食時に流すなどはどうだろうか。
- オオルリの鳴き声が馴染んでくると山野に行っても、鳥を探したくなる。そうした経験も大津小学校では実際、経験しているので、面白いと思う。
- 役所の封筒にも決定した花・木・鳥を印刷することはやってほしい。
- 産業の振興も兼ねての制定であるから、一過性のものでなく、継続性のものとして、周知、浸透できる方策とし、是非、予算にも反映してもらいたい。
- 縦割りではなく、各部署と連携し、周知を図る方策を詰めていってもらいたい。

<事務局から>

- ・ 来年、島田市と金谷町が合併したことにより新市が誕生してから10周年になることから事業がいくつか予定されている。来年2月には決定を予定しているが、周知等については、そういう記念行事等を捉えて行っていくなど検討していきたいと考えている。
- ・ また、今回委員の皆さんから、提言いただき、出たものをヒントにさせていただいて、具体的に予算要求を行い、取捨選択することを御理解いただきたい。

(2) その他

<事務局から>

- ・ スケジュール案について次回の制定委員会の内容、パブリックコメントの実施にむけての市当局、議会等への説明、広報等での周知方法を説明した。
- ・ さらにパブリックコメント後、庁議に諮り決定していく際の想定スケジュール案について説明を行った。
- ・ 本日まとまった委員会の意見を市当局へ提言していくこととする。
9月4日午前9時、市長、副市長等へ委員会の報告をするので、委員長、副委員長の出席ほか、時間のある委員の皆さんは是非、集合し、出席してほしい。
- ・ パブリックコメントの実施についての公表資料等については委員の皆さんにあらかじめ連絡するものとする。
- ・ 次回委員会については、パブリックコメント実施後、取りまとめを経て庁議等に諮り、決定していき、来年1月に開催を予定している。その第6回制定委員会で報告することとしたいので、暫くお時間をいただきたい。